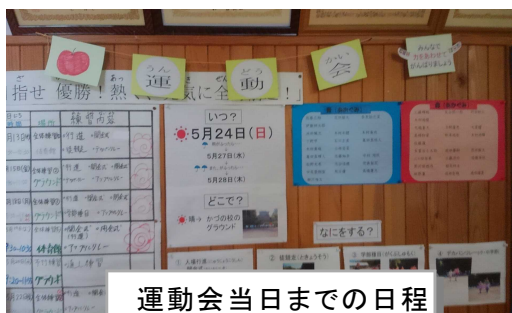


「みんなの心が一つになった運動会」



- 5月24日（日）、地域みなさんに参加を御遠慮いただいたり、時間を短縮した内容に変更したりして運動会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期をしている学校が多い中、「本当に実施してよいのか」と、自問自答を繰り返す日々でした。しかし、新型コロナウイルス感染を予防するためには、みんなで楽しく運動

することが免疫力を高めることに効果的であること、同じ目的を共有し、学校全体で活動することで、みんなの心が一つになれると信じて実施しました。

- アップルサポーターであるオリンピックランナーの浅利純子さんが見守る中、子どもたちはいつもより短いコースを元気に入場行進しました。徒競走では職員と手をつないでゴールするのではなく、子どもたちが自分の力で最後まで走ることを目指しました。ゆっくりマイペースの子どもには、周りから勇気づける声援が送られました。それは会場が一つになった瞬間でもありました。学部種目は子どもたちが力を発揮できるように、子どもたちの得意なことを取り入れた内容にしました。小学部は可愛いドラえもんの衣装を身にまとい、保護者と一緒にどら焼きをゲットしたり、踊ったりしました。中学部は集団行動とよさこいソーランのパフォーマンスです。ピタッと演技が決まったときやバク転を披露した生徒に、会場から「うおーっ」という感動の歓声が聞こえました。高等部は現場・校内実習の作業内容をリレー形式で再現しました。一輪車で重い物を運搬する姿やお客様にお茶をもてなす姿に、割れんばかりの拍手が起こりました。
- 最後は、全校縦割り活動として取り組んでいるりんごの栽培を題材にした色別対抗アップルリレー「おいしいりんごジュースを届けよう」です。花摘み、袋掛け、収穫、ジュースの加工等の栽培の流れを友達と協力しながら行いました。できあがりりんごジュースは、かつの校45人の子どもたちの思いやりが詰まった味です。
- 閉会式で浅利純子さんが、「今、日本中が暗い気持ちで過ごしているけれど、かつの校の子どもたちの走る姿はたくさんの人に元気と勇気を与えてくれます」と、感想を述べました。不安があったからこそ、子どもたちのやり遂げた表情と保護者のみなさんのうれしそうな表情に安堵するとともに、大きな喜びを感じました。運動会でかつの校が一つになった成果を、これからの前期実習や交流及び共同学習などの活動に生かしていかなければならないと決意を新たにしました。



【子どもたちが作った可愛いてるてる坊主】